

科目名	保育方法論Ⅱ		担当教員	由 田 新		
			担当形態	単独		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」フレーベル館 「保育所保育指針解説書」フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」フレーベル館 その他資料を適宜配布する。	単位数 授業形態	1 単位	講義	開講時期	後期
<p><b>講義概要</b></p> <p><b>■到達目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・国内外の様々な保育方法のいくつかを挙げ、保育観と共に説明することができる。</li> <li>・自身の実践を多角的に検討し、その意義または課題について説明することができる。</li> <li>・「環境を通して行う保育」「遊びを通しての総合的な指導」について、具体的に説明し、その意義を述べることができる</li> </ul> <p><b>■授業の概要</b></p> <p>国内や諸外国の様々な保育方法を学び、それぞれの意義を考察すると共に、背景となる保育観との関係を学ぶ。また、保育方法の見直しに繋がる、個人や同僚との実践検討・評価の実際を知る。最後に、保育方法として「環境を通して行う保育」「遊びを通しての総合的な指導」について実践的理解を深める。</p> <p><b>■授業計画</b></p> <p>第1回 様々な保育方法（1）現在の日本における保育方法          第2回 様々な保育方法（2）日本の保育方法の変遷          第3回 様々な保育方法（3）諸外国の主な保育方法          第4回 保育方法と保育観          第5回 子どもの遊びと保育技術          第6回 情報機器を使用した保育の展開          第7回 保育のねらいと内容と評価～保育実践の検討          第8回 「環境を通して行う保育」「遊びを通しての総合的な指導」を再考する</p> <p><b>■準備学習</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内で提示された課題について調査・検討してくる。</li> <li>・授業後に授業内で学んだことを整理し、まとめる。</li> </ul> <p><b>■評価方法</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・授業内コメントシート — 20%</li> <li>・授業内課題 — 30%</li> <li>・期末レポート — 50%</li> </ul>						
参考文献	「子どもも保育者も笑顔になる！遊び保育のための実践ワーク」萌文書林 「保育指導法 幼児のための保育・教育の方法」同文書院 その他授業内で紹介する。	特記事項	【課題等のフィードバック方法】 授業内コメントシートや期末レポートは、コメント等を記入し返却する。			
卒業・免許状・資格との関連	幼稚園教諭免許状必修 保育士資格必修	幼	教職に関する科目			
		保	保育の内容・方法に関する科目			